



第3期

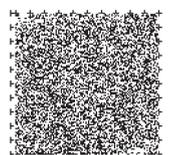
柳川市 子ども・子育て 支援事業計画

令和7年3月
福岡県 柳川市

概要版



この二次元コードは「音声コード」といいます。スマートフォンや専用機械を使って文書を音声で読み上げることができ、視覚障がいのある人も情報を得ることができるようにしています。



計画について、簡単に紹介します。



どんな計画なの？



柳川市で暮らす子どもとその保護者が安心して生活し、子育てと子どもの成長を地域のみ
んなで支えるまちづくりを進めていくための計画で、今回の計画で3期目になります。これま
で取り組んできた取り組みに加え、これからの子どもとその保護者に必要となる支援を新た
に盛り込み、子育てしやすく子どもがのびのびと育つまちの実現に向けて取り組んでいきます。

期間はあるの？

令和7年度

令和11年度

を期間とし、取り組みを進めていきます。

どうやってつくられたの？



- 市民アンケート調査
- 関係者紙面ヒアリング
- 現行計画の庁内評価

を行い、実際に子育てをしている人と、子育て
支援に従事している人の双方の視点から必要なこ
とを計画に盛り込めるよう努めました。

目指す姿は？

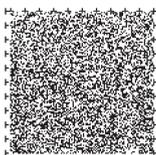


柳川でよかった！



ともにはぐくみ、支える、子育てのまち

子ども・子育て支援事業計画では、「柳川でよかった！ともにはぐくみ、支え
る、子育てのまち」を計画が目指すすがた（基本理念）とし、一人ひとりの子
どもが、笑顔でいきいきと健やかに成長できるように地域や社会全体で子ども
の成長に寄り添い、支えることで、安心して子育てができるまちを目指します。



基本目標1

安心して子どもを産み育てることができる支援の充実

子育て世帯が抱える悩みや課題、一人ひとりの状況に応じた支援を行うことができる体制の整備を進めます。また、保育体制の維持・充実や母子保健の推進に努め、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めます。

取り組みの方向性

1

切れ目のない子育て支援とサービスの充実

2

保育体制の充実

3

子どもや母親の健康の確保と小児医療の充実



こんなことに取り組みます

「こども家庭センター」を子育て支援課に設置し、妊娠、出産、子育て期での相談や情報提供を行います。

母親の身体的回復と心理的安定のため、産後ケア事業や乳児家庭全戸訪問事業を行います。

子どもや家庭それぞれの状況を鑑み、10年後、20年後の生活や将来を見据えた支援を展開します。

発達段階に合わせた健康診査及び予防接種を行うとともに、親子の健康に関する啓発を行います。

地域と連携した子育て支援サービスの利用促進を図るとともに、担い手の確保に取り組みます。

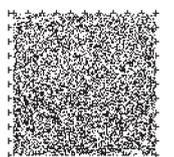
マタニティセミナー等を開催し、親としての自覚の形成と子育て期における仲間づくりの支援を行います。

柳川市の人口

14歳以下人口

R2	7,648	減少 減少
R7 (見込み)	6,771	
R12 (見込み)	5,784	

柳川市の総人口は減少傾向ですが、14歳以下の「年少人口」は、総人口よりも速いスピードで減少しています。これにより、人口全体に占める年少人口の割合は、令和17年には9.6%と、1割を下回ると予測されています。



基本目標2

子どもが健やかに育つ環境づくり

子どもが主体的に学び、様々な遊びや体験を通じて育っていくことができるよう、教育・保育環境の整備を進めます。また、子どもとその親が、地域や身近な人、団体、関係機関、行政の多様なアプローチを通じてつながりを持ち、地域全体で子育てを支える体制をつくります。



取り組みの方向性

1 多様な居場所の創出

2 生きる力を育む学校の教育環境等の整備

3 思春期の保健対策の充実

4 家庭や地域の教育力の向上

こんなことに取り組みます

子どもが学校や家以外で、主体的に活動したり過ごせるよう、放課後や週末の居場所づくりを推進します。

子どもとその親が気軽に訪れ、子育て世帯同士や地域住民と交流することができる場づくりを推進します。

一人ひとりに応じた「生きる力」を育むために、家庭、学校、地域が連携し、自ら学ぶ環境づくりを進めます。

家庭、地域、学校が一丸となって子どもを育てる意識を持つことで、地域全体の教育力の向上につなげます。

児童生徒や保護者が心や身体の悩み、不登校やいじめ等の問題を相談できる体制づくりに努めます。

地域資源を活用した交流・体験活動等を推進します。



関連計画の 一体的な策定

困難を抱える家庭では、経済的支援だけではなく、文化的経験や地域との交流など、総合的な支援をしていく必要があります。この計画においては、「こどもの貧困対策推進計画」を包含して取り組みを定めることで、すべての子どもとその親が、安心して暮らせる柳川市の実現に向けて取り組んでいくこととしています。



基本目標3

子どもとその親が いきいきと暮らせる 地域づくり

子どもがまちづくりに積極的に参加したり、意思表示ができるよう、子どもの権利の尊重に向けた啓発を進めます。また、子どもとその親が、安全に、安心して暮らすための支援のほか、地域と連携した防犯対策や、交通安全に関する意識啓発に取り組みます。



取り組みの方向性

- 1 子どもの権利の尊重
- 2 相談体制・情報提供の充実
- 3 経済的な負担の軽減
- 4 さまざまな子どもや家庭の状況に応じた支援
- 5 良好・安全な生活環境の整備
- 6 子どもの交通安全を確保するための活動の推進
- 7 子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進
- 8 働くことや結婚の希望を叶える支援
- 9 児童虐待防止対策の充実

こんなことに取り組みます

子どもの権利に関する周知・啓発を図り、広く理解を深める取り組みを推進します。

働き方の見直しや男女が互いに協力し合いながら子育てを行う環境づくりを推進します。

子育てに関する情報が、必要としている人に適切に届くよう情報発信手段の多様化や内容の充実を図ります。

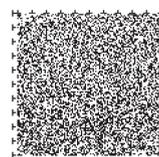
子どもの安全を守るため、防犯パトロールなどを実施し、犯罪を防止する環境を整備します。

児童手当の支給や医療費の助成をはじめ、多子世帯への支援など、各種経済的支援の充実に努めます。

子育てをしている親が、悩みや不安を抱え込むことの無いよう、地域や関係機関と連携しながら支援します。

計画的なサービスの提供

この計画には、子育てに関する市の取り組みのほか、教育・保育施設の利用や、地域子ども・子育て支援事業の利用について、今後の利用見込みを立てています。それに基づいて、柳川市において、適切な提供体制が確保できるよう、確保方策を定めています。第3期計画では、「子ども・子育て支援法」「児童福祉法」に基づき、新たな事業が創設されており、柳川市においても、今後の状況を踏まえて、適切なサービス提供に努めていきます。



ご存知ですか？子育て

柳川市や福岡県では、困ったときに相談できる窓口や、子どもと一緒に気軽に訪

このゆびとまれ



柳川市地域子育て支援拠点施設

0944-72-7706

赤ちゃんから3歳頃までの子どもとその家族なら、どなたでもお越しいただけます。スタッフが常駐しており、子どもや親同士の交流など、自由に過ごすことができるほか、専門職による相談会や講習会も実施しています。また、市内3か所の保育園においても保育室の開放や絵本の読み聞かせなどを行っています。

[\詳しくはこちら！/](#)



こども家庭センター

(旧子育てサポートセンター)

柳川市役所子育て支援課

こども相談係 0944-77-8524

母子包括支援係 0944-77-8170

子どもとその保護者の心配ごとについて相談支援を行う「こども相談係」、乳幼児の発育、発達、栄養、健康に関する相談支援を行う「母子包括支援係」が対応いたします。相談内容など、秘密にしたいことは守られますので、安心してご相談ください。

あかちゃんタイム

柳川市立図書館本館（あめんぼセンター）

親子が気兼ねなく図書館での楽しい時間を過ごせるよう、毎週土曜日の10:30～16:00を「あかちゃんタイム」としています。また、市立図書館各館では、定期的に「おはなし会」も開催しています。



やながわ

ファミリー・サポート・センター

子育ての手助けができる人「まかせて会員」が、おおむね生後3か月から、小学校6年生までのお子さんを対象に一時的な預かりや保育園等の送迎を行うサービスです。利用にあたっては、「おねがい会員」の登録が必要です。(利用には料金が発生します)

[\詳しくはこちら！/](#)

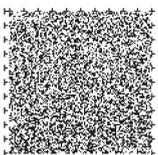


子育てアプリ 柳川はぐはぐ

妊娠から出産、子育てまで、地域の情報が簡単に手に入るほか、近くの医療機関や公園、認定こども園や保育園など、子育て施設の検索機能、予防接種の日程通知や子どもの成長を記録する機能もあります。



[\詳しくはこちら！/](#)



支援の取り組み



れることができる場所など、様々な取り組みを行っています。

教育相談

児童生徒支援教室わかば 0944-76-1216
学校教育支援センター 0944-74-5955

柳川市教育委員会では、精神的、心理的な理由で登校できない小中学生を対象とした「児童生徒支援教室わかば」、小中学生の子どもやその保護者を対象に、登校に不安を感じている、いじめ、体罰など様々なことについて相談支援を行う「学校教育支援センター」の2つの相談窓口を設けています。

[\詳しくはこちら!](#)



福岡県

小児救急医療電話相談

短縮番号 #8000

平日 19時～翌朝7時、土曜 12時～翌朝7時、日祝 7時～翌朝7時の時間帯に、看護師、または必要に応じて小児科医による電話相談を行っています。子どもの急な病気やけがで心配なときにご連絡下さい。

[\詳しくはこちら!](#)



障害福祉相談室

基幹相談支援センター「きらり」

0944-76-4411

障がいのある子どもやその保護者を対象に、日頃の生活での悩みや心配ごとなど、様々な相談を受け付けています。

[\詳しくはこちら!](#)



親子教室・離乳食教室

親子あそびや、保育士による遊び方・子どもとの関わり方のアドバイス、臨床心理士による発達相談・育児相談を行う「親子教室」、離乳食の説明や実際に調理をおこなう「離乳食教室」を実施しています。

[\詳しくはこちら!](#)



親子教室



離乳食教室

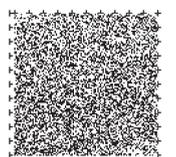


[\詳しい情報はこちらから!](#)

柳川市子育てハンドブック

このページに掲載している内容の詳細や、子育てに関するサービスや健診、予防接種、相談窓口など様々な情報をまとめて掲載している「柳川市子育てハンドブック」を作成しています。各庁舎、子育て支援拠点で配布しているほか、柳川市のホームページで電子ブック版も見ることができます。

[\詳しくはこちら!](#)





概要版

第3期柳川市子ども・子育て支援事業計画

発行年月 令和7年3月

発行 柳川市 保健福祉部 子育て支援課

〒832-8601 福岡県柳川市本町 87 番地 1

TEL 0944-77-8523

